

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまSun（児発）		
○保護者評価実施期間	令和6年7月1日		令和6年7月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 27人
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日		令和6年8月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害（知的・情緒など）別、発達状況に応じた個別支援ができています。 ・集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びや製作遊び、感覚遊びなどを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人（保護者など）との関わりや子ども同士の関わりの中で、子ども自身が自主性や主体的に活動ができるように支援を行っていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に応じ、スタッフ間で連携を図り問題解決や改善策に積極的に取り組むことができている。 ・定期的に関係機関と連携を図り、それぞれの役割を確認することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者のニーズや不安や悩みに答えたいけるように迅速に対応し、安心していただけるように努める。また、関係機関との連携も密にとっていきたい。
3	家族通園による活動	<ul style="list-style-type: none"> ・家族通園の方法により、安心した環境の中で活動に参加し、保護者の方は子ども理解や子どもの発達段階にあった関わりを知ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労している保護者の方や兄弟がいる家庭が利用しやすいような環境を考えていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、言語聴覚士、公認心理師が集団活動に参加し直接支援を行っているが、各グループの参加の回数が少ない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材が確保できるまでの間、各職員が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。
2	家族通園による活動	<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟児や就労している保護者にとっては利用しづらい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと向き合える社会や働きやすい環境を整える社会になって欲しい。
3	施設のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場から事業所までの間に、車いす等がスムーズに通過しづらい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がお手伝いしたり、車寄せできるようにしたりし、できる限りの配慮できるようにする。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【児童発達支援】

公表: R7年 1月31日

事業所名: おひさまSun

保護者等数(児童数)27

回収数 27

割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	2			・確保されていると思う。	・活動室の広さは、最低基準以上の広さを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	2		1	・子どもをよく見ていてくれる。 ・子どもの数に対して必要な職員が配置してある。 ・時折足りないと感じる ・活発さが友達との関わりで緊張する時がある。	・配置基準は子ども4名に対して大人1名となっていますが、必要に応じて、最低基準以上の職員配置ができるようにしています。子ども達の発達に気付き、個別対応に努めたり職員の立ち位置にも配慮したりしていきたいと思っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	3			・怪我の報告もなく良い空間である。	・子どもの状態に合わせて活動内容や環境設定を工夫していきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	1			・洗面所のマットが気になる。 ・活動しやすい空間である。	・活動毎にマットの洗濯を行っています。またお気づきの点等ありましたら、お知らせください。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	27				・子どもに合わせて考えてくれている。	・日々の保護者とのお話の中からニーズや課題を聞いた上で計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26				・目標を決めてその通りに支援している。 ・相談を聞いてもらい思いをくみ取っている。(未回答1)	・個別支援計画書は、児童発達支援ガイドラインに沿って作成しています。ガイドラインは、分離室や更衣室にも置いてありますので、いつでもご回覧ください。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	3			・目標通りの支援をしている。	・ご不明な点がありましたらお知らせください。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	1			・色々な活動が経験できている。勉強になる。(未回答1)	・月の活動計画(おたより)の中で、感覚遊び、運動遊び、製作遊び、お散歩等感覚統合を主に取り入れ、内容が固定化されないようにしています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	6	3	2	・登園している園の情報などが助かる。 ・一緒に活動する機会はありません。(未回答2)	・事業所として交流の機会は設けていませんが、登録の9割以上のお子さんが幼稚園・保育園・認定こども園に併行通園しているため、幼保連絡会では子どもの情報共有はもろろのこと、おひさまSunの施設案内や事業所の紹介等も行い併行通園先の先生方にも知って頂けるようにしています。
保護者への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	1			・丁寧な説明があった。	・負担金等につきましては、領収書をお渡ししています。また、ご不明な点がありましたらお知らせください。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	26				・丁寧な説明があった。(未回答1)	・保護者の方と一緒に子どもの達の成長に合わせた支援ができるよう心掛けていきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	20	4		2	・話を聞いてもらう事で心、気持ちの整理ができる。(未回答1)	・相談会や療育相談の実施、子どもに合わせながら保護者と一緒に活動するグループ等も設定しているため、一緒に考え、実践できるようにしていることが当事業所のペアレント・トレーニングと考えています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	27				・良くできている。	・相談会いつでも話ができるように心掛けています。相談を持ち帰らせていただいた後もお返しできるようにしています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	1			・子どもとの接し方、課題について親身になってくれる。母が落ち着く時間でもある。 ・良くできている。	・複数の職員が入ることで一人ひとりと話ができるように心掛けています。いつでもお気軽にお話しただければと思います。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	7	1	3	・同じグループの方とは話せるが連携とまではいかない。 ・定期的に懇談会がある。	・保護者分離の時間や相談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。 ・懇談会の内容等もより興味、保護者の交流の場となるように努めていきたいと思っています。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	1			・丁寧に対応してもらっている。	・相談に迅速かつ丁寧に対応できるようにしていきたいと思っています。必要に応じて、専門療法士も個別に相談することもできる為、声を掛けていただければと思います。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25				・配慮されている。(未回答1)	・繰り返し等を通して、情報共有させてもらっています。また、子ども達にも分かりやすいよう、必要に応じて視覚提示の工夫を行っています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	1		1	・連絡帳で何をしたら様子を記入してあり、分かりやすい。	・ホームページにおたより等を月に1回更新しています。また、分からないことありましたら、お知らせください。
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	26	1			・注意されている。	・契約時に説明させていただいています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	24	2		1	・訓練に参加して子どもが思い出し行動や発話がある。	・防犯訓練の実施も検討していきます。 ・更衣室や分館室に消防計画細則を掲示しています。お目を通して頂ければと思います。 ・緊急時、防犯に関してもマニュアル等策定しております。掲示物を確認いただければと思います。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	1		1	・毎月の避難訓練が有難い。	・月に1回避難訓練を実施しています。火事・地震・風水害等様々な災害を想定して計画するようにしています。 ・くすの子保育園と合同の総合避難訓練を年1回行っています。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26	1			・とても楽しみにしている。 ・楽しみにしているが行きたくない日もある。 ・毎朝、「今日おひさま？」と利用が確認し通園を楽しみにしている。 ・積み重ねた経験から自分の居場所となっている。 ・幼稚園が二つあると喜んでいる。	・ご意見ありがとうございます。子ども達が楽しみにして来所できるように活動を計画していきたいと思っております。
	23	事業所の支援に満足しているか	27				・大変満足している。 ・成長していく姿を見れる。体感できて嬉しい。 ・いつもありがとうございます。	・ご意見ありがとうございました。今後より保護者と子ども達にとって安心できる場所であるように努力してまいります。何かありましたらお知らせください。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和7年 1月 31日

事業所名: おひさまSun

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		人数が多い行事等の際は、活動内容を考えながら安全に過ごせるように設定しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		4:1の配置基準の中、子どもに合わせて1名~2名追加で配置しています。また、定期的に専門職の先生に来て頂いています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		発達段階や障害の特性に応じて、改善する機会を設けています。余計な刺激を無くし、視覚的に分かりやすい環境を設定しています。また、心のバリアフリーも大切にしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		掃除を活動毎に行い活動が始まるまでに環境設定しています。定期的に玩具の消毒や清掃、草刈り、夏と冬に(年2回)大掃除を行っています。	床のささくれについては、職員で確認を行いワックスを塗って補修を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々の振り返りや月1回の会議を通して見直しを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		今後も、年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋がります。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ掲載と合わせて、懇談会にて説明しています。懇談会の参加が欠席の方には、後日配布しています。また、回覧できるように分館室、更衣室に掲示しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部に評価をお願いしてませんが、第三者委員会にて評価を聞く機会を設けています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		常に外部や内部の研修に参加できるようにしています。専門職の先生からの助言も取り入れながら学ぶ機会を設けています。また、月に一度、職員内での勉強会をしています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通してニーズに基づく計画作成を行っています。必要に応じて感覚プロフィール等を実施して評価しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。必要に応じて感覚プロフィール等を実施して評価しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討し作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画を全職員が確認を行い、共通認識の元、支援ができるようにしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		素案を元に参加スタッフ全員で行っています。また、専門職の先生方にも相談し活動を考えています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		月の計画で季節の行事等も取り入れながら、活動内容が固定化しないようにしています。また、公開保育に参加し他事業所の活動も参考にしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		活動計画の中で個別対応を設定したり個別の配慮を取り入れた計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ケースカンファレンスを行い、共通理解の元対応できるようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		活動終了後に保護者との振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個人記録、全体記録を取り、次に繋がれるようにしています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		日々の話や連絡会等の内容等も記載し、反映しています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者を中心に担当者も参加するようにしています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関との会議や定期的な情報交換を通して、連携が図れる体制を作っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				現在は対象児がいません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在は対象児がいません。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		幼保連絡会、幼保小連絡会を行い、連携を図っています。必要に応じて電話でも連携を図っています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学先が決定した後、移行支援シートを用いて連絡会を行い、連携を図っています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		外部研修や公開療育等を通して連携を図り、他事業所との勉強会を年2回行っています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		同法人の保育園の園庭を利用した活動や行事を行っています。また、登録児の9割近くが幼稚園、認定こども園、保育園に就園しています。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		法人関係者が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		基本家族通園を行っており、活動終了後保護者と振り返りを行っています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		家族通園を通して、年3回の懇談会、振り返りや随時相談、保護者と一緒に活動をする機会を設け、話を聞くことが毎朝業務のペアレント・トレーニングと考えられています。また、保護者との深い関わり(30分)の時間COT-STのお話しを始める機会を設けています。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に書類に基づいて説明を行っています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者と話をしながら反映し、同意を得ています。また、ニーズが変更する場合は記録に残し、話ができるように心掛けています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望がありましたら、随時面談を行っています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会は設立していませんが、分館の活動や懇談会を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		随時相談等、対応できるようにしています。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページ等でお知らせしています。毎月25日にはアップできるよう心掛けています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		契約の際に説明し、確認をしています。また、ホームページに写真をアップする際は随時確認するようにしています。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		家族通園の為、保護者と一緒に考えたり、関わり方等の話をしたりしながら意思の疎通や情報伝達をしています。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	行事の際等に、卒所児やその家族に声掛けしお誘いしています。今後も地域との交流を持ち協力等を得ながら関係性を築いていきたいです。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		掲示等を通して周知しています。年に1回総合避難訓練を行っています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月避難訓練を行っています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に連絡表に記載してもらい、確認をしています。また、必要に応じて生活管理表を医師より記載してもらい提出してもらっています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		給食室と確認しながら、医師の指示書の元、除去食の提供をしています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止に関する研修会への参加等、必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			基本、身体拘束は行っていません。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)